

本部長：須木中学校区学校支援地域本部

連絡先：小林市教育委員会社会教育課

電話：0984-22-7912

FAX：0984-23-9700

1 実施状況

| | |
|---|-----------------|
| 対象学校 | 小林市立須木中学校・須木小学校 |
| 活動分野 | 学習支援・環境整備・学校行事 |
| 【学校支援の取組】 読み聞かせ（通年）部活動支援（通年）環境整備（5月・8月）家庭科支援【ミシン・郷土料理】（6月）水泳指導（6月）学習田活動支援【田植え・稲刈り・脱穀等】（6月・10月・11月・12月）踊り指導【よさこい・須木音頭】（9月）絵画指導（9月）技術科支援【木工】（9月）社会科学習支援【郷土歴史・須木の栗】（9月・10月）国語科俳句指導（10月）餅つき大会支援（12月）正月飾り作成支援（12月）三味線指導（1月） | |
| ○地域コーディネーター（ 2 ）人 ○ボランティア登録数（ 74 ）人 | |

2 特色のある取組の紹介

①「ふるさとプロジェクト」



【ここがイチオシ・本部自慢】

「ふるさと」のためになる活動を展開して、地域の活性化の一翼を担う。

○活動内容

活動拠点を子供達が住んでいる地区に移し、ふるさと（地区）のためになる活動を計画して実践した。そして、多くの地域の方々と交流を図り、学校や先生、児童のことを知ってもらおう。そして、最後には学校の応援団になってもらおうというのが本活動の主旨である。（本年度は、地区ならでは活動が計画されたが、雨天のため変更された。）



【剣舞一の谷】

○事業を実施して（参加者等の声）

- ・ 「剣舞一の谷」は舞手の高齢化と児童生徒の減少により後継者が途絶えていた。そこに本プロジェクトをぶつけることにより児童生徒への伝承の機会を得ることができた。（ボランティア）
- ・ 夏に子供たちに凧づくりを教え交流を深め、冬には凧揚げ大会を実施し、昔の原風景を再現することができた。また、お一人で過ごされている高齢者宅を訪問する活動も行った。（ボランティア）



【凧づくり】

②「本物に触れよう。本物を学ぼう」



【ここがイチオシ・本部自慢】

三味線の専門家による指導のおかげで1年音楽の授業が充実

○活動内容

- ・ 授業のねらい～三味線にふれよう
 - ・ 支援者～池山三絃道
 - ・ 授業の展開（2時間続きで実施）
- ① 三味線そのものについての説明。
 - ② 実際に弾き方について指導。
 - ③ 全員でソーラン節を合奏する。
 - ④ 支援者全員による演奏の鑑賞。



【指導している様子】

○事業を実施して（参加者等の声）

- ・ 一人一人に、三味線を準備していただき、懇切丁寧に指導してもらいました。本物に触れるだけでなく、少し弾けるようになってとてもうれしかったです。そして楽しかったです。（生徒）
- ・ 普段は高齢者を相手に教えているので、中学生に教える機会が与えられてとてもうれしい。生徒たちは予想以上に、覚えるのがとても早くてびっくりです。また、来年も来たいです。（ボランティア）



【支援者による演奏】